



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名 株式会社フジシーインターナショナル

上場取引所 東

コード番号 7864 URL <https://www.fujiseal.com>

代表者 （役職名）代表執行役社長 CEO

（氏名）岡崎 成子

問合せ先責任者 （役職名）IR室長

（氏名）後藤 文孝

TEL 06-6350-1080

半期報告書提出予定日 2025年11月12日

配当支払開始予定日 2025年12月1日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 （証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	109,328	3.9	11,671	27.1	12,004	39.9	9,147	60.5
2025年3月期中間期	105,234	10.9	9,186	63.4	8,581	21.3	5,700	6.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 6,003百万円（△57.9％） 2025年3月期中間期 14,252百万円（33.1％）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	171.61	—
2025年3月期中間期	105.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期中間期	213,552	148,351	69.5	2,783.07
2025年3月期	209,822	145,269	69.2	2,707.95

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 148,351百万円 2025年3月期 145,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	38.00	68.00
2026年3月期	—	35.00			
2026年3月期（予想）			—	36.00	71.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	216,000	1.7	19,400	3.0	19,700	7.5	17,300	41.8	322.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ― 社 (社名)

、除外 ― 社 (社名)

- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	60,161,956株	2025年3月期	60,161,956株
2026年3月期中間期	6,857,090株	2025年3月期	6,516,290株
2026年3月期中間期	53,302,955株	2025年3月期中間期	54,288,957株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(中間期)

(注) 期末自己株式数には、従業員持株E S O P信託口(以下「信託口」という。)が保有する当社株式を含めております。また、信託口が保有している当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2025年11月11日に機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。

当日使用する決算補足説明資料は、本日、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 研究開発活動	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(中間連結損益計算書に関する注記)	12
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における経営成績は、売上高1,093億28百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益116億71百万円(前年同期比27.1%増)、経常利益120億4百万円(前年同期比39.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は91億47百万円(前年同期比60.5%増)となりました。

(単位:百万円)

	2025年3月期 中間連結会計期間	2026年3月期 中間連結会計期間	増減率
売上高	105,234	109,328	3.9%
営業利益	9,186	11,671	27.1%
経常利益	8,581	12,004	39.9%
親会社株主に帰属する中間純利益	5,700	9,147	60.5%
米ドル平均為替レート(円)	152.36	148.40	△2.6%
ユーロ平均為替レート(円)	164.70	162.25	△1.5%

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	2025年3月期 中間連結会計期間	2026年3月期 中間連結会計期間	増減率	現地通貨 増減率
日本				
シュリンクラベル	25,669	26,139	1.8%	—
タックラベル	4,426	3,852	△13.0%	—
ソフトパウチ	11,416	11,659	2.1%	—
機械	2,383	2,437	2.3%	—
その他	7,847	7,678	△2.1%	—
売上高合計	51,742	51,768	0.0%	—
営業利益	5,580	5,379	△3.6%	—
米州				
シュリンクラベル	27,450	28,485	3.8%	6.5%
タックラベル	1,394	1,337	△4.1%	△1.6%
ソフトパウチ	32	138	332.0%	343.5%
機械	2,627	3,736	42.2%	46.0%
売上高合計	31,505	33,697	7.0%	9.8%
営業利益	3,092	4,228	36.7%	40.4%
欧州				
シュリンクラベル	9,457	10,001	5.7%	7.3%
タックラベル	2,769	3,597	29.9%	31.8%
機械	5,339	5,871	10.0%	11.6%
売上高合計	17,566	19,470	10.8%	12.5%
営業利益	845	1,693	100.3%	103.3%
アセアン				
シュリンクラベル	5,033	4,964	△1.4%	1.3%
タックラベル	62	15	△75.3%	△74.6%
ソフトパウチ	4,503	4,119	△8.5%	△6.1%
機械	386	190	△50.6%	△49.2%
その他	24	31	31.0%	34.5%
売上高合計	10,009	9,321	△6.9%	△4.4%
営業利益	395	753	90.6%	95.7%

	2025年3月期 中間連結会計期間	2026年3月期 中間連結会計期間	増減率	現地通貨 増減率
売上高				
売上高	110,822	114,256	—	—
調整額	△5,588	△4,928	—	—
連結売上高	105,234	109,328	3.9%	5.3%
営業利益				
営業利益	9,914	12,055	—	—
調整額	△727	△383	—	—
連結営業利益	9,186	11,671	27.1%	28.8%

(日本)

シュリンクラベルは売上高261億39百万円（前年同期比1.8%増）、タックラベルは売上高38億52百万円（前年同期比13.0%減）、ソフトパウチは売上高116億59百万円（前年同期比2.1%増）、機械は売上高24億37百万円（前年同期比2.3%増）、その他は売上高76億78百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

その結果、日本全体の売上高は517億68百万円（前年同期比0.0%増）、損益面は営業利益53億79百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

(米州)

シュリンクラベルは売上高284億85百万円（前年同期比3.8%増、現地通貨ベース6.5%増）、タックラベルは売上高13億37百万円（前年同期比4.1%減、現地通貨ベース1.6%減）、ソフトパウチは売上高1億38百万円（前年同期比332.0%増、現地通貨ベース343.5%増）、機械は売上高37億36百万円（前年同期比42.2%増、現地通貨ベース46.0%増）となりました。

その結果、米州全体の売上高は336億97百万円（前年同期比7.0%増、現地通貨ベース9.8%増）、損益面は営業利益42億28百万円（前年同期比36.7%増、現地通貨ベース40.4%増）となりました。

(欧州)

シュリンクラベルは売上高100億1百万円（前年同期比5.7%増、現地通貨ベース7.3%増）、タックラベルは売上高35億97百万円（前年同期比29.9%増、現地通貨ベース31.8%増）、機械は売上高58億71百万円（前年同期比10.0%増、現地通貨ベース11.6%増）となりました。

その結果、欧州全体の売上高は194億70百万円（前年同期比10.8%増、現地通貨ベース12.5%増）、損益面は営業利益16億93百万円（前年同期比100.3%増、現地通貨ベース103.3%増）となりました。

(アセアン)

シュリンクラベルは売上高49億64百万円（前年同期比1.4%減、現地通貨ベース1.3%増）、タックラベルは売上高15百万円（前年同期比75.3%減、現地通貨ベース74.6%減）、ソフトパウチは売上高41億19百万円（前年同期比8.5%減、現地通貨ベース6.1%減）、機械は売上高1億90百万円（前年同期比50.6%減、現地通貨ベース49.2%減）、その他は売上高31百万円（前年同期比31.0%増、現地通貨ベース34.5%増）となりました。

その結果、アセアン全体の売上高は93億21百万円（前年同期比6.9%減、現地通貨ベース4.4%減）、損益面は営業利益7億53百万円（前年同期比90.6%増、現地通貨ベース95.7%増）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当中間連結会計期間末における総資産は2,135億52百万円となり、前連結会計年度末と比べ37億29百万円の増加となりました。

その主な要因は、現金及び預金が20億21百万円増加したこと、受取手形及び売掛金（電子記録債権を含む）が15億9百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は652億1百万円で、前連結会計年度末と比べ6億48百万円の増加となりました。これは、支払手形及び買掛金（電子記録債務を含む）が19億5百万円増加したこと、借入金が11億28百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は1,483億51百万円で、前連結会計年度末と比べ30億81百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が70億92百万円増加したこと、自己株式の取得等により9億5百万円減少したこと、為替換算調整勘定が30億11百万円減少したことなどによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、121億28百万円の収入（前年同期は118億35百万円の収入）となりました。これは税金等調整前中間純利益118億54百万円、減価償却費40億39百万円などの計上、仕入債務の増加額21億20百万円などによる収入、売上債権の増加額28億35百万円、法人税等の支払額22億38百万円などによる支出によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、8億72百万円の支出（前年同期は43億50百万円の支出）となりました。これは、定期預金の払戻による収入53億58百万円、有形固定資産の取得による支出56億83百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、41億4百万円の支出（前年同期は53億44百万円の支出）となりました。これは、自己株式の取得による支出10億77百万円、配当金の支払額20億55百万円などによるものであります。

これらの結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ68億87百万円増加の359億39百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日付の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

（4）研究開発活動

当中間連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、11億22百万円であります。

なお、当中間連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,394	36,415
受取手形及び売掛金	52,849	54,295
電子記録債権	12,583	12,647
商品及び製品	11,184	10,273
仕掛品	6,699	7,873
原材料及び貯蔵品	9,739	9,763
その他	5,860	5,490
貸倒引当金	△236	△105
流動資産合計	133,075	136,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,365	25,573
機械装置及び運搬具(純額)	20,782	19,756
工具器具備品(純額)	2,400	2,642
土地	8,991	9,068
リース資産(純額)	288	274
建設仮勘定	5,328	7,066
その他(純額)	940	823
有形固定資産合計	65,097	65,205
無形固定資産		
のれん	871	833
その他	1,316	1,210
無形固定資産合計	2,187	2,043
投資その他の資産		
投資有価証券	3,530	3,365
繰延税金資産	2,499	2,819
その他	3,520	3,546
貸倒引当金	△88	△82
投資その他の資産合計	9,462	9,649
固定資産合計	76,747	76,898
資産合計	209,822	213,552

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,811	16,757
電子記録債務	11,565	12,524
短期借入金	6,000	5,448
1年内返済予定の長期借入金	751	706
リース債務	72	73
未払金	4,644	4,066
未払法人税等	1,801	2,455
賞与引当金	2,598	2,288
その他	12,976	13,223
流動負債合計	56,220	57,543
固定負債		
長期借入金	2,781	2,249
リース債務	135	119
繰延税金負債	1,284	1,199
退職給付に係る負債	2,751	2,853
その他	1,379	1,236
固定負債合計	8,332	7,657
負債合計	64,553	65,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,990	5,990
資本剰余金	6,625	6,665
利益剰余金	119,188	126,280
自己株式	△11,230	△12,136
株主資本合計	120,574	126,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,006	879
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	23,423	20,411
退職給付に係る調整累計額	265	261
その他の包括利益累計額合計	24,695	21,551
純資産合計	145,269	148,351
負債純資産合計	209,822	213,552

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	105,234	109,328
売上原価	83,487	84,317
売上総利益	21,747	25,010
販売費及び一般管理費	※1 12,560	※1 13,339
営業利益	9,186	11,671
営業外収益		
受取利息	107	200
受取配当金	69	70
為替差益	—	109
その他	106	101
営業外収益合計	283	481
営業外費用		
支払利息	112	114
為替差損	713	—
休止固定資産減価償却費	58	33
その他	3	1
営業外費用合計	888	149
経常利益	8,581	12,004
特別利益		
固定資産売却益	8	3
特別利益合計	8	3
特別損失		
固定資産除売却損	200	28
組織再編費用	—	※2 64
減損損失	—	※3 61
特別損失合計	200	153
税金等調整前中間純利益	8,389	11,854
法人税、住民税及び事業税	2,549	2,963
法人税等調整額	139	△256
法人税等合計	2,688	2,706
中間純利益	5,700	9,147
親会社株主に帰属する中間純利益	5,700	9,147

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	5,700	9,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	△126
繰延ヘッジ損益	3	△0
為替換算調整勘定	8,420	△3,011
退職給付に係る調整額	91	△4
その他の包括利益合計	8,551	△3,143
中間包括利益	14,252	6,003
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	14,252	6,003
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	8,389	11,854
減価償却費	4,381	4,039
減損損失	—	61
のれん償却額	63	37
組織再編費用	—	64
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△44	△119
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△254	△266
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	64	62
固定資産除売却損益 (△は益)	191	24
受取利息及び受取配当金	△176	△271
支払利息	112	114
為替差損益 (△は益)	601	△238
売上債権の増減額 (△は増加)	△766	△2,835
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,557	△999
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,441	2,120
未払金の増減額 (△は減少)	△340	△305
その他	2,333	914
小計	13,438	14,257
利息及び配当金の受取額	181	268
利息の支払額	△90	△113
組織再編費用の支払額	—	△45
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,694	△2,238
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,835	12,128
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△892	△467
定期預金の払戻による収入	8	5,358
有形固定資産の取得による支出	△3,015	△5,683
有形固定資産の売却による収入	115	36
無形固定資産の取得による支出	△98	△87
投資有価証券の取得による支出	△438	△19
貸付けによる支出	△42	△0
貸付金の回収による収入	44	3
その他	△31	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,350	△872
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,010	△516
長期借入れによる収入	1,523	—
長期借入金の返済による支出	△391	△359
自己株式の取得による支出	△0	△1,077
自己株式の売却による収入	107	90
配当金の支払額	△2,356	△2,055
その他	△217	△187
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,344	△4,104
現金及び現金同等物に係る換算差額	809	△264
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,950	6,887
現金及び現金同等物の期首残高	22,788	29,051
現金及び現金同等物の中間期末残高	※1 25,738	※1 35,939

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

報告セグメントの概要

当社及び連結子会社は、シュリンクラベル・タックラベル・ソフトパウチ及び機械などを中心としたパッケージングの企画、提案、開発、製造及び販売等の事業を展開しております。

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会において経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているもので、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、当社の報告セグメントについては、「日本」、「米州」、「欧州」及び「アセアン」の4つで報告セグメントを構成しております。

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額(注2)
	日本	米州	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	50,431	31,501	14,793	8,508	105,234	—	105,234
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,311	3	2,772	1,500	5,588	△5,588	—
計	51,742	31,505	17,566	10,009	110,822	△5,588	105,234
セグメント利益	5,580	3,092	845	395	9,914	△727	9,186

(注) 1. セグメント利益の調整額△727百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州: アメリカ、メキシコ

欧州: イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア

アセアン: インドネシア、ベトナム、タイ、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額(注2)
	日本	米州	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	50,762	33,688	16,498	8,379	109,328	—	109,328
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,005	9	2,971	941	4,928	△4,928	—
計	51,768	33,697	19,470	9,321	114,256	△4,928	109,328
セグメント利益	5,379	4,228	1,693	753	12,055	△383	11,671

(注) 1. セグメント利益の調整額△383百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州: アメリカ、メキシコ

欧州: イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア

アセアン: インドネシア、ベトナム、タイ、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、固定資産の減損損失61百万円を計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年8月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得により自己株式は1,077百万円(430,900株)増加いたしました。当該自己株式の取得等により、当中間連結会計期間末において自己株式は12,136百万円(6,857,090株)となりました。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
給与手当	4,599百万円	4,954百万円
賞与引当金繰入額	808	782
貸倒引当金繰入額	△30	△107
退職給付費用	125	130

※2 組織再編費用

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

日本セグメントの再編に伴い発生した費用であります。その内訳は、製造移管に伴う費用64百万円であります。

※3 減損損失

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

以下の資産グループにて減損損失を計上しております。

用途	場所	種類	金額(百万円)
処分予定資産	株式会社フジシール名張工場 (三重県名張市)	機械装置他	41
売却予定資産	京都府亀岡市	機械装置	20

当社グループは、原則として事業用資産については継続的に収支の管理を行っている管理会計上の事業区分を基準としてグルーピングを行っており、遊休資産、処分予定資産及び売却予定資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

上記の資産のうち、株式会社フジシール名張工場の処分予定資産については、設備の老朽化により処分予定となったため、その帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。なお、当該資産の回収可能価額は使用価値により測定しており、売却可能性が見込めないため、備忘価額で評価しております。京都府亀岡市の売却予定資産については、売却の意思決定に伴いその帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。なお、売却予定資産の回収可能価額は正味売却価額により評価しております。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金勘定	26,668百万円	36,415百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	△930	△476
現金及び現金同等物	25,738	35,939